

JAしまねびより

2020
12
December
Vol.57

特集 SDGsってなんだろう？



島根の
いいもの再発見!!

島の香り 隠岐藻塩米

[隠岐郡隠岐の島町]

詳細は6ページへ



JALしまね くにびき地区本部版

topics 1

中国・四国地区JA青年大会
島根が最優秀賞と優秀賞に輝く！



「中国・四国地区JA青年大会」が11月4日、岡山市で開催され、島根県大会で最優秀賞に選ばれた2人がWEB形式で出場しました。

毎年この大会は、JA全国青年大会の地区代表選考会を兼ねており、今回、JA青年の主張の部で斐川青年連盟の伊藤尚幸さんが最優秀賞に選ばれました。また、JA青壮年組織活動実績の部では、やすぎ青年連盟の北中宏一さんが優秀賞に選ばれました。

斐川青年連盟の伊藤さんは、「日々挑戦する事の意味」と題して、所属する農事組合法人アグリード羽根で洋菓子店の食創工房「レコルト」をオープンするまでの苦労や応援してくれる仲間の大切さなどについて発表しました。やすぎ青年連盟の北中さんは「盟友のお嫁さん探し」と題し、農家の嫁不足解消の取り組みをユーモアを交えながら発表しました。

最優秀賞の斐川青年連盟の伊藤さんは、2月に開催予定のJA全国青年大会に出場されます。

JA島根青年組織協議会の今後の活躍が期待されます。



JA青年の主張の部 最優秀賞を受賞した伊藤さん

topics 2

地域の特産についての
授業を実施



熱心に説明を聞く児童ら

ました。

同組合は、地域の活性化やPRの一環として授業や作業場の案内を行っており、今回、地域の特産品を学ぶ同小学校からの依頼を受け実施しました。当日は組合員が生産方法や作業工程、畑地区の気候や風土が品質に結びついていることを分かり易く説明。その後、児童らは作業場や収穫した柿を干すまでの工程の実演を見学しました。

森広護組合長は「地域の素晴らしい特産品を知り、地域のことをもっと好きになってほしい」と話しました。

授業を受けた児童は「おいしい干し柿になるまでに、たくさんのお苦労があることがわかった」と話しました。

畑ほし柿

生産組合は11月2日、松江市東出雲町の畑公民館で、特産である「東出雲の畑ほし柿」についての授業を、松江市立出雲郷小学校3年生に行い

topics 3

令和2年度地域貢献・
地域活性化団体活動表彰式



JAしまねは11月13日、松江市のホテル白鳥で令和2年度地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を行いました。

この取り組みは平成25年度より、地域力の向上を応援することを目的に「元氣な地域づくり」を目指した活動を行う団体を表彰・支援しています。

当日は、JA各地区本部が推薦する組合員や地域住民が構成員の団体を表彰し、石川寿樹組合長が各団体の代表者へ表彰状と目録を手渡しました。

受賞した海士町の太井地区恵比須神社祭り道中神楽代表の濱谷祐紀さんは「ターナー者を巻き込んで地域住民が一体となり、一時途絶えていた恵比須神社の祭り道中神楽を再興した。今後も地域に貢献し、後継者の育成につなげていきたい」と話しました。

その他の表彰団体は次のとおり

▽クラブ「むぎの会」(松江市)、ゆりかごの会(松江市)、Yama Sac Club(安来市)、城名樋会(雲南市)、隠岐島後認定和牛改良組合(隠岐の島町)、稗原ロマン倶楽部(出雲市)、下出来洲KH C(出雲市)、万九千社立虫神社神代神楽保存会(出雲市斐川町)、三瓶そば振興協議会(大田市)、特定非営利活動法人らんどぐざーむ(浜田市)、都茂郷愛好花クラブ(益田市)



賞状を受け取る太井地区恵比須神社祭り道中神楽 濱谷代表



喜ぶ受賞者と石川組合長



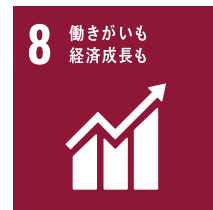
SDGsってなんだろう？



最近、新聞やテレビなどでよく聞くようになった「SDGs（エスディーゼズ）」という言葉。政府や自治体、企業などが積極的に取り組んでいることもあり、一度は目にしたり耳にしたことがあるという方も多いのではないのでしょうか？



とはいえ、SDGsの認知度はまだまだ低いのが現状です。今月はJAグループも積極的に取り組みに参加している「SDGs」について特集します。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。私たち自身と、子や孫、さらにその先の世代も、豊かに安心してくらしていけるように2030年までに世界中で解決しなければならない課題を、大きく17の目標に分類したものがSDGsです。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、日本の政府も積極的にSDGsの目標達成に向けて、取り組みを進めています。さらに先進国、途上国、協同組合、企業など、すべての関係者による連携した取り組みが求められています。

基本理念は、SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」と共通するものです。これの活動を通して、持続可能な世界をつくることに取り組んでいます。JA SDGsの目標達成に貢献しています。ご紹介します。



目標達成に貢献しています!

SDGs

- 「協同組合」というシステム自体によるパートナーシップの構築
- 国内外における協同組合間（JF、CO-OP等）の連携
- 国内における自治体、労働組合、NGO、NPO等との連携
- 農商工を中心とした企業との連携

17 パートナーシップで目標を達成しよう



販売事業とSDGs

JAしまねでは、地域で生産された新鮮な農畜産物が、地域内で直接販売され、最後まで安全に消費されています。また、6次産業化により生産振興や生産者手取り拡大につながるよう、地場産品による特産品開発・商品開発も進めています。

大量生産や大量消費という生産と消費の形態を続けていけば、持続可能な社会を実現することはできません。

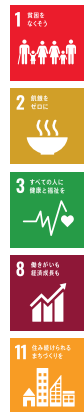
- 地産地消活動
- 直売所・ファーマーズマーケット
- 加工事業
- 販売促進活動



くらしの活動とSDGs

JAしまねでは、豊かでくらしやすい地域づくりのための、ふれあい活動として「食と農に関する活動」「地域貢献活動」「支店ふれあい活動」を三本柱とする「くらしの活動」に取り組んでいます。

活動を通じて「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」を目指しています。



農福連携とSDGs

JAしまねでは、福祉施設利用者に農作業の施設外就労を依頼。人手不足で悩む地域の農業施設と、福祉施設利用者をつなぎ、農福連携に取り組んでいます。

- (社福)JAいずも福祉会が運営する「ぼてとはうす」の利用者に施設外就労を依頼



環境保全とSDGs

JAしまねでは、自然の恩恵を地域に根ざすエネルギーとして、小水力発電や太陽光発電等の、安全なクリーンなエネルギーの活用・確保に向けた取り組みを行っています。



施設利用者が就労する出雲やさしい新話ファーム



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAしまねが掲げる「人と自然が共生する、光り輝く未来の創造」というSDGsはすべての国と人が目指す共通の目標で、世界中の人々がそれぞれしまねでは、組合員と地域の暮らしを守ることを目的に、自己改革を通じて今月は、JAの取り組みがSDGsの目標にどのように繋がっているのか

JAしまねはSDGsの

女性部・青年部とSDGs

- JAしまね支店ふれあい活動・JA女性部統一行動「おもてなしプロジェクト」の実践



- JAしまね、JAしまね女性部、島根県農協青年組織協議会が協力し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により困窮している大学生へ米を支援



- 地域の方や、子どもたちに向けての農業体験、食農教育活動



この特集誌面は、一般社団法人家の光協会の「1時間でよくなるSDGsと協同組合」より一部抜粋しています。

SDGsとは何か、どう活用すればいいのか、協同組合は目標達成のために何が出来るかなど、基本からわかりやすく解説。
定価(税込)／660円



【お問い合わせ先】お近くのJAしまねの支店へお問い合わせください。

JALしまねと

農業協同組合は、設立以来SDGsの目標に親和性のある取り組みを続け、国内外における協同組合間の協同に早くから取り組み、自治体や企業、NGO、NPOとの連携も広がっており、世界から大きな期待が寄せられています。

様々な問題をみんなで協力して解決していく協同組合の組織の基本は、「パートナーシップで目標を達成しよう」の17目標そのものです。



農業振興とSDGs

JAしまねでは、持続可能な農業を実現するため、様々な担い手に対して積極的な支援、活動を通じ、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」を目指しています。

- 新規就農者を含む地域の担い手の育成
- TACによる事業継承支援
- 営農指導での生産者貢献
- 農業振興支援事業の実施
- スマート農業の推進
- 島根県産農畜産物の安全安心の取り組み など



購買事業とSDGs

JAしまねでは、組合員・地域住民の豊かなくらしを支援するため購買事業に取り組んでいます。

- 農薬・肥料等、生産資材の価格低減
- 自動車燃料事業の取り組み
- 店舗・組織購買の取り組み



普段取り組んでいる活動が、SDGsにつながっているね

島根には誇れる
農産品がた一つくさん!

島根のいいもの 再発見!!

[直撃・生産者インタビュー]

隠岐郡隠岐の島町

島の香り 隠岐藻塩米

今月は、隠岐地区本部です。隠岐郡隠岐の島町旧五箇村に位置する圃場で、今年から全面的に藻塩米をきぬむすめに切り替え栽培を開始された、島の香り隠岐藻塩米生産部会副部会長の石田哲広さんにお話を伺ってきました。

島の香り隠岐藻塩米とは

五箇地区内を中心に全体で12haの田畑で米や蕎麦、黒大豆などを栽培している石田さん。令和2年度はそのうちの4・2haで「藻塩米きぬむすめ」を栽培しました。

藻塩米は、島の特色を生かした製法で作る特別栽培米（減農薬、減化学肥料）で、穂が出てから収穫までの間に藻塩の水溶液を噴霧して栽培します。海藻アラメを田んぼに肥料として播（ま）いていた伝統農法を現代版にアレンジして作り始めました。日本では珍しいアルカリ岩から構成する島のキメ細かい土には、マグネシウムが県内の平均より1・5倍前後多いとされています。さらに特徴的なのが、藻塩を薄めた水



藻塩の水溶液を噴霧して栽培する



お話を伺った
石田哲広さん

溶液の噴霧。稲に極限までストレスをかけ、ミネラル成分を根と葉からたっぷり吸収させ、養分を蓄えることで美味しいお米ができます。特選以上は主に関東・関西・中京方面を中心に出荷し、米専門店などからも高い評価を得ており、島根のブランド米となっています。

挑戦することが農業の醍醐味

石田さんが本格的に米作りを始めたのは平成26年。高校を卒業後、地元企業で勤めながら家業の田畑を手伝っていました。将来のことを考え兼業ではなく、専業で米作りをしようと農業の道を選択しました。JAや役場、今の生産部会の村上淳一部会長にもサポートしてもらい、様々な制度等も活用し、親からの経営委譲というかたちで新規就農しました。

就農当時、既に藻塩米の生産方法は、確立され安定した生産ができ、販売についても順調に推移しており成熟期にあります



「美味しまね認証」も取得!

した。ただ、生産部会としては、それに甘んじることなく前進しようとして「美味しまね認証」を取得した生産者に限り、藻塩米きぬむすめの生産をするため差別化を図ることとした。

「美味しまね認証」

には、設備投資等クリアしなければならないことがありましたが、石田さんは自作で作業場を作ったり改修したりといろいろな人の助けを借りながら認証を取得しました。この経験で改めて勉強になることもたくさんあり、自身の農業を見つめ直す機会にもなったそうです。

スマート農業にもチャレンジ

ご自宅にお邪魔した際、まず目に飛び込んだのがドローン。藻塩米のプロモーション用に稲作風景や隠岐の島の魅力を伝える風景などを撮影し、販売先でお客様に見てもらっているとのこと。

昔から機械いじりが好きで、若い頃は車を自分でいじって遊んでいたそうです。今では農機具のメンテナンスにすごく役立つっており、部品の交換などはほぼご自身でされます。

ドローンもそうですが、農業に使える機械や技術がここ数年で飛躍的に伸び



藻塩米PRに
一役買っているドローン



石田さんが作った作業場…立派です

てきており、石田さんも今年からGPSを利用した高精度ガイダンスシステムを導入し、耕耘作業や田植え作業の効率化、省力化、高精度化に取り組み始めました。またアグリノート（スマホやタブレット入力）の栽培・作業履歴の管理の導入による生産工程管理の徹底も行っています。今後は、農機具の自動操舵化や農薬散布のドローン導入など、さらに効率化・省力化を目指しています。

人との関わりを大事に、次のステップへ

認定農業者となり、生産部会の副部長も務めるようになった石田さん。先輩方に比べて経験は浅いですが、やっているのと良いことも辛いこともたくさん経験しました。

今年の夏は、水害で機械が全て水に浸かりましたが、周囲の人の協力もあり、修理・メンテナンスをしてなんとか収穫に間に合わせることができました。ただ、こうした辛いことも、消費者に「おいしい」と言っていたことで全てが吹き飛びます。

販促会で東京に行った時のことです。お世話になっている米屋さん、自分の名前が入った藻塩米を一生懸命売っている姿を見た時には、嬉しいとの感情と同時に「自分たちも、もっともっと頑張って、美味しい良い米を作らないと！」と身が引き締まる思いがしたそうです。



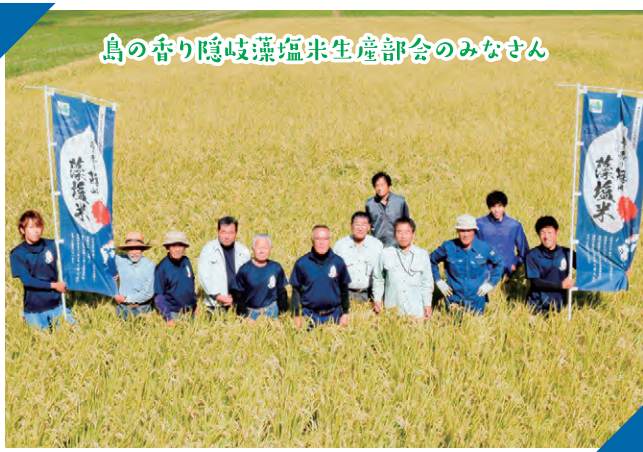
ドローンの操縦はお手のもの

隠岐の島から「島の香り」を伝え、届け続ける！

隠岐でも耕作放棄地が問題になっています。放っておけば確実に田畑は荒れていきます。石田さんは、島の農地を守るため、こうした放棄地を借受け、活用していく努力もしています。ブランド米として評価を受けるようになるまでに、JAや役場、関係機関、問屋、米屋など挙げればきりが無いほど多くの方にお世話になったそうです。

「これからも人と人の繋がりを大事に、高品質化・生産量アップ、美味しませね認証による安心・安全な米作りを目指し続けていきます。産地でできる努力を積み重ね、磨きをかけ、美味しい「島の香り隠岐藻塩米」を届けることこそが皆さんへの恩返しになると確信しています」と将来像を描く石田さんでした。

島の香り隠岐藻塩米生産部会のみなさん



一口メモ

島の大地を作るアルカリ岩の水通しの良さから良質な水資源が豊富な隠岐の島。透き通った水と、綺麗な海水に海藻と一緒に煮詰めて作った赤茶の藻塩を活用した「島の香り隠岐藻塩米」は、島根が誇るブランド米のひとつ。炊き上がりはふっくらモチモチで、「甘み」と「香り」のある独特な美味さが特徴です。ブランド米は多少割高ですが、その美味しさは全国に知れわたり、人気となっています。

- 購入方法・お問い合わせ先 ●
JAしまね 隠岐地区本部
電話 08512-2-1133



隠岐の島のこだわり米「島の香り 隠岐藻塩米」の公式アカウントです！季節とともに移り変わる藻塩米の情報、産地である隠岐の島の様子などを発信していきます！

<https://www.facebook.com/moshiomai/>

部会オリジナルの
ポロシャツとマスク





石見銀山女性部

石見銀山女性部は、東西に長い島根県の真ん中に位置し、世界遺産と日本遺産のある大田市で活動しています。

女性部といえば食と農! 次世代を担う子供たちに地元の味を知ってもらおうと、かぼちゃやフキ、サトイモの学校給食への提供や、伝統料理である「箱寿司」の出前講座を行っています。また、地元ケーブルテレビの料理番組に出演し、地産地消レシピの普及にも取り組んでいます。

地域のことも勉強しています! 積極的に地域を学ぶ機会を作っており、世界遺産である石見銀山遺跡では研修会を毎年行っています。また、去年は戦後の農村女性の地位向上に尽力した地元女性部員の活動とSDGsについて寸劇を行い、県内外の多くの方にご披露しました。

私たちは、これからも次代へ文化と歴史を引き継ぐため、ふるさとを知り、地域を元気にする活動を行います。



サトイモ会



箱寿司



一所懸命青年連盟



JA YOUTH

JAしまねいわみ中央青年連盟

さ さ き まさ し
佐々木 正志さん



佐々木正志さん(41)は浜田市三隅町で西条柿を3.4haで生産しています。

全くの素人だった佐々木さんは14年前、西条柿の生産者である父親が病気になったことで急遽引き継ぐことになり、兼業農家として就農しました。今では「生産者の高齢化が進む中、自分が地域の中核として圃場を守っていきたい」と話します。

農青連に加入して今年で4年目。現在は同連盟の副委員長を務めています。「若い農業者の意見や悩みを聞き一緒に考えることは、きっと自分の成長にもつながる」という思いを持って加入し、頼れるリーダーとして活躍しています。

今年から農業系の高校に通うようになった息子さんが「自分の背中を見てくれている」と感じるそうです。「息子が将来、次世代の担い手として活躍できるような土台づくりを目指し、“何にでも挑戦する”をモットーにこれからも日々努力していきたい」と熱く語りました。



あなたもチャレンジ 家庭菜園

ニンジンの トンネル栽培

とう立ちさせない温度管理を

ニンジンの発芽適温は15～25度で発芽には10度以上、生育適温は18～21度です。緑植物春化型といい、ある程度の大きさになり、低温に遭遇すると花芽が形成され、その後の長日と高温でとう立ちが始まる野菜です。



園芸研究家 ● 成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

土寄せ

間引きと同時に土寄せを行い、さらに収穫期近くには、根の肩の部分にさらに土寄せして、根が緑に着色するのを防ぎます(図4)。

収穫

根の径が4～5cmに肥大した株から順次抜き取ります。太り過ぎて裂根しないうちに収穫をします(図5)。裂根は急激に肥大する生育後半、畑が乾燥または過湿となる水分条件で起きやすいものです。

品 種

春まき用にはとう立ちがしにくい品種を選びましょう。どんな土壌にも適し、作りやすい「向陽二号」(タキイ種苗)、草勢が強く、芯まで鮮紅色になる「ちはま五寸」(横浜植木)などがあります。なお、暖地向きの「黒田五寸」はとう立ちの早い品種です。

畑の準備

種まき2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまき、30cm程度の深さに耕します。1週間前に、化成肥料(NPK各成分で10%)100～150gと完熟堆肥2～3kgを施し、土とよく混ぜておきます。

条間15cm、株間15cmなどの穴開きマルチ資材の規格に合わせた70～80cmのベッド幅を作ります。マルチは早めに張って地温を上げておきましょう。

種まき

温暖地では1～2月から種まきができますが、家庭菜園では3月まきが安心です。穴開きマルチでは、1穴に5～6粒まきます(図1)。

トンネルの設置

換気作業を省力化するには穴開きのトンネル資材(農ポリ)を選ぶと良いのですが(図2)、普通の農ポリでは生育に従って裾を上げて換気をします。さらに、トンネル内の茎葉が茂り、いっぱいになればトンネルを外します。

間引き

1回目は本葉2～3枚のときに2～3本、2回目は5～6枚のときに一本立ちにします(図3)。



図1 種まき

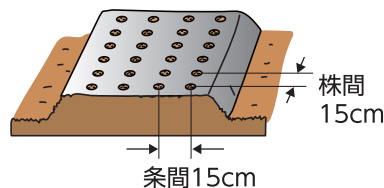


図2 トンネルの設置

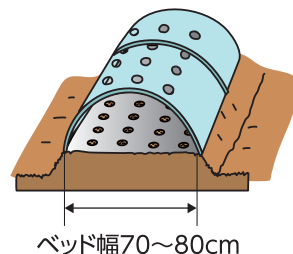


図3 間引き

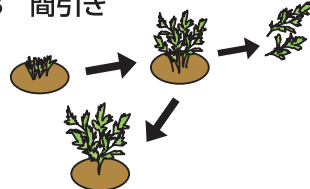


図4 土寄せ

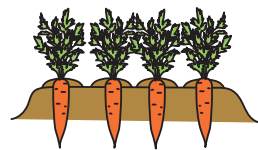


図5 収穫



理事会情報 (10月29日開催)

【協議事項】

- ① 旅行事業の統一と移行に伴う機構改革の実施について
- ② 令和2年度補助事業の実施について
- ③ 令和元年産島根米の最終精算について
- ④ 令和2年9月末仮決算について
- ⑤ 大口貸出金の承認について
- ⑥ 出資口数の減少(減口)の承認について
- ⑦ 行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ⑧ 令和3年1月からの専門委員会の委員選任について(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

**甘くておいしい「ほしがき」をお届け！
県内外へ出荷が始まる**

秋の味覚であり、松江の特産でもある西条柿を使用した「ほしがき」の出荷が11月16日から、くにびき地区本部本庄選果場で始まりました。

11月27日までに集荷した「ほしがき」は約9万9千個。大きさや形、水分量の他、異物の混入がないかチェックした後、ひとつずつ丁寧に箱詰めして、県内の市場を中心に、広島や大阪、京都など県外の市場に向け、出荷しました。

指導販売課の菊地雅也指導員は「今年の西条柿は9月ごろから降雨が少なかったため、大玉だった昨年よりは、やや小玉傾向にある。糖度も十分で仕上がりは良好なので、たくさんの方に食べていただきたい」とPRしました。

今後は、出荷量17万個を目標に、集荷に努めていきます。



箱詰めする作業員



検品する作業員

お問い合わせ先
指導販売課
TEL 0852-55-3031

農機大展示会開催！ 各種農機が勢ぞろい

くにびき地区本部は11月21、22日の両日、農機センターで秋の大展示会を開催しました。2日間で245名の組合員や地域住民が会場を訪れ、展示された農機の数々から品定めをしながら購入しました。

展示会は、日頃の感謝や利用者の拡大などを目的に、毎年3回開催。例年、自動車センターと合同で展示会を実施していますが、今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、農機のみを開催となりました。

当日は、最新の農業機械や関連機械を展示したほか、業績還元価格で刈払機や背負動噴、管理機を販売。また、特別企画として管理機の下取りキャンペーンや新米の食味測定、資材の相談コーナーを設け、土壌診断を実施しました。

来場者は「最新機械の使用方法を丁寧に教えてもらえるのがありがたい」「特別価格での販売もあり、毎回楽しみにしている」と話しました。

2月には、自動車の展示会を開催する予定です。



使用方法について説明を聞く来場者

ご確認ください

グリーンショップふるえ・やくも営業時間及び定休日変更のお知らせ

平素は各店舗をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、Aコープふるえ・やくもの改装工事の完了に伴い、グリーンショップふるえ・やくもの営業時間及び定休日を次の通り変更いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

●変更日：令和3年1月7日（木）より

店舗名	営業時間	定休日
グリーンショップふるえ	9:00～17:00	毎週火曜日
グリーンショップやくも	9:00～15:00	毎週火・木曜日

令和3年1月からのJAグリーン、グリーンショップ各店舗営業時間及び定休日は下記のとおりです。

なお、営業時間および定休日は、2021年版のオリジナルカレンダーにも掲載しております。

店舗名	営業時間	定休日
JAグリーンかわつ	4月～9月	毎月第1火曜日 (4・5・7・10月を除く)
	8:30～18:30	
	10月～3月	
JAグリーンつだ	4月～9月	毎月第1火曜日 (4・5・7・10月を除く)
	8:30～18:30	
	10月～3月	
グリーンショップふるえ	9:00～17:00	毎週火曜日
グリーンショップやくも	9:00～15:00	毎週火曜日・木曜日
グリーンショップたまゆ	9:00～15:00	毎週火曜日・木曜日
グリーンショップしんじ	9:00～15:00	毎週火曜日・木曜日

農業者の所得増大・農業生産の拡大に向けて取り



移植の様子を見守る組合員ら

高収益作物タマネギの移植実施 にこのコファーム新庄が団地化目指す

農事組合法人にこのコファーム新庄（津森邦夫代表）は11月13日、5haのタマネギ団地化を目指し、初めての移植作業を行いました。

同法人は、圃場整備事業に合わせて地域の担い手として構成員100人で今年2月に設立。高収益作物の取り組みとしてタマネギを選定し、1年目は30aの栽培を行います。

当日は、県東部農林振興センターや県農業振興センター、当地区本部の関係者など約30名が集まり、9月に播種した品種「ターザン」などの苗を専用機で移植しました。

津森代表は「作土層が薄く、石が多いため畑地化するのに苦労したが、新庄の土地は我々で守ろうとここまでやってきた。地域を挙げて栽培に取り組み、地域を活性化させたい」と意気込みました。

同法人の設立や栽培指導を担当する担い手サポートセンターの片寄俊一TACは「来年6月の収穫を目指し、適期管理に努め、高品質のタマネギを栽培したい」と話しました。

2027年には作付け面積を5haまで増やす予定です。

松江市農政意見交換会開催！ 地域農業の更なる振興に向けて

松江市農政会議（上山根晴久会長）は11月12日、営農総合センターにおいて、松江市産業経済部と「令和2年度松江市農政意見交換会」を開催し、地域の農業振興について意見を交わしました。

当日は、同農政会議の他、くにびき地区本部、くにびき青年連盟、くにびき女性部などの組織・団体から62名が出席。はじめに、松江市産業経済部から、農業振興の取り組みについて説明がありました。

その後、同会議東出雲支部の岸本定朝さんが「農地の維持を図り、遊休農地の拡大を防ぐとともに、米の需給調整を進めるため、土地利用型作物を松江市の重要な生産調整作物として位置づけ、産地交付金を地域へ適正に配分していただきたい」と要望。また、宍道支部の三島正さんが「農畜産物消費拡大」、青年連盟の安達隆行副委員長が「農業者の労働力確保」などをテーマにそれぞれ課題提起しました。

松江市の山根幸二産業経済部長は「コロナ禍にあるので、生産者と行政、JAが協力しながら、地域農業の振興を目指したい」と話しました。



課題提起する青年連盟の安達副委員長



山根部長



上山根会長

令和2年産米集荷状況

令和2年12月1日現在

（単位：袋）

品種名	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	昨年同期（12月4日）			
			1等	2等	3等			集荷数量	1等米比率	申出数量対比	
うるち	ハナエチゼン	9,522	8,011	4,978	1,546	492	71.0%	84.13%	9,128	37.30%	92.49%
	コシヒカリ	27,544	23,790	4,696	14,359	2,605	21.7%	86.37%	24,910	10.30%	77.45%
	きぬむすめ	46,184	35,817	17,091	14,520	278	53.6%	77.55%	37,602	74.20%	81.71%
	つや姫	23,808	19,893	9,396	7,188	395	55.3%	83.56%	19,162	67.20%	85.04%
	その他	444	760	30	492	238	3.9%	171.17%	447	17.70%	406.36%
うるち計	107,502	88,271	36,191	38,105	4,008	46.2%	82.11%	91,249	51.10%	82.43%	
もち	826	741	80	446	215	10.8%	89.71%	727	0.00%	74.03%	
合計	108,328	89,012	36,271	38,551	4,223	45.9%	82.17%	91,976	50.60%	82.36%	

※各品種の数量には加工用米を包含していません。

※各等級1等米比率には、カントリーエレベーターの受入数量は含んでおりません。

	申出数量	集荷数量	等級			1等米比率	申出数量対比	目標数量	集荷袋数	目標数量対比
			1等	2等	3等					
加工用米	906	906	474	389	43	52.3%	100.00%	120,000	89,012	74.18%

お知らせ

令和2年度集落座談会の開催について

令和2年度の「集落座談会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記のとおり参集範囲を絞り、開催いたします。

集落・地域単位における意思反映の場であり、地域農業の現状と問題点、将来の方向性など一体となって意識の醸成を図る重要な会ではありますが、ご理解をいただきますようお願いいたします。

●開催時期

令和3年1月22日(金)～2月13日(土)

●参集範囲

総代、集落委員、支店運営委員

ご確認ください

この度の集落座談会は、参集範囲を絞り開催するため、1月のふれあい訪問日に正組合員宅に集落座談会資料を配布します。意見等がある場合は、開催期間中に各支店の支店長までお申しつけください。

地域活性化に向けた地域貢献活動に取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

JA
自己改革
実践中

地域貢献・地域活性化団体表彰
くにびき管内からは2団体

JAしまねでは「地域貢献・地域活性化事業支援金」を創設し、地域貢献・地域活性化に取り組むグループ・団体等を表彰、普及支援し「地域力」の向上に努めています。

11月13日に地域貢献・地域活性化団体活動の表彰式を行い、12団体が受賞されました。当地区本部から、下記の2団体が表彰されました。おめでとうございます。

令和2年度 地域貢献・地域活性化団体活動表彰式



団体名	代表者(敬称略)	主な活動内容
クラブ「むぎの会」 (松江市東出雲町)	野々内 さとみ	「自立と文化を求めて自ら変わっていこう」をモットーに自分の得意とすること、興味のあることで活動を行い、自己啓発に努めるとともに地域貢献に繋げることを目的に活動に取り組んでいます。 ●各グループでの活動(老人ホームへのボランティア、ケナフの栽培から加工、葉草茶づくり、公共施設の花壇管理、自分史作り、学習会)など
ゆりかごの会 (松江市鹿島町)	中島 和子	「命を慈しむこと、優しい心を育むこと、ふれあいの喜びを分かち合うこと」をモットーに朗読の輪を広げています。また、地元産の農産物を使用し、食育にも取り組んでいます。 ●小・中学校で本の読み聞かせや料理教室、抹茶体験教室の実施 ●各種イベントへの出演

児童が茶工場を見学 お茶の生産工程について学ぶ

くにびき地区本部は11月4日、鹿島東小学校3年生9名の社会見学を受け入れ、鹿島製茶工場を営農指導員が案内しました。



生産工程について説明する作業員

同小学校の3年生は、総合的な学習で鹿島町内の文化について学んでおり、同町で生産が盛んなお茶についても知識を深めようと当地区本部に依頼し、見学が実現しました。

当日は、営農指導員と茶工場の作業員が蒸し、葉打ち、揉み、乾燥を行う機械が整然と並び、工場内を案内しながらお茶の生産工程などについて説明。児童たちは出来立ての茶の香りが立ち込める工場内を、興味深そうに見学したり、質問したりするなど、お茶への関心を深めました。

指導販売課の川島奨指導員は「お茶には、免疫力を高め、風邪を引きにくくする効果がある。季節によって、味や香りが違うので、楽しんでほしい」と呼びかけました。

授業を受けた児童は「蒸したり、乾燥させたりいろいろな工程があり驚いた。茶摘みやお茶作りも楽しみ」と笑顔で話しました。

香りを確認する児童



組合員のアクティブメンバーシップ確立に向けて取り組んでいます。

～くにびき地区本部の取り組み～

総代研修会開催 新総代がJA事業について学ぶ

くにびき地区本部は11月9日、同地区本部の営農総合センターで、新しく選任された総代にJA事業への理解を深めてもらうと「令和2年度総代研修会」を開催しました。当日は新総代140名のうち101名が参加し、総代の役割やJAの歴史について学びました。

新総代は、管内7選挙区から選ばれ、令和5年9月30日までの3年間の任期で、事業運営や重要事項などを審議します。

冒頭、石川寿樹代表理事組合長が「コロナ禍で農産物の価格が上がらない状況が続く。JAにおいても対策を講じ、行政と連携しながら今後も支援を続けていく。これから3年間、組合員とJAの橋渡し役をお願いしたい」と挨拶。続いて、栗原令本部長が「農業経営基盤の確立を目指し、様々な改革を実施し、皆様にもご不便をおかけした。より良いJAを目指し、地域の意思反映を担っていただきたい」と呼び掛けました。



挨拶する石川組合長



JA綱領を唱和する参加者

研修会では、高木賢一代表理事専務が、JAしまねの事業概況について説明。その後、今岡修統括部長が、総代の果たすべき役割のほか、地区本部の事業概況や第2次中期経営計画「優先課題」の取り組みについて解説しました。

県産米のおいしさ知って 消費拡大目指し、女性部が米配布

くにびき女性部（中島和子部長）は11月14日、JAグリーンつだとかわつの両店舗で、「ニコ・ニコおむすび大作戦」の一環として、女性部員9名が来店者に県産産の新米つや姫とレシピを配布しました。



「ニコ・ニコおむすび大作戦」は米の消費拡大を通じて、女性部の活動をさらに知ってもらおうことを目的としたJAしまね女性部の統一行動。例年は、イベント等で手作りのおにぎりを振舞っていましたが、コロナ禍で中食が増えていることから、自宅で新米を楽しんでもらおうと配布を実施。

当日は、両店舗の店頭で、女性部の活動をPRしながら、新米つや姫300g入りの袋を手渡し、準備した176袋は約1時間でなくなりました。



新米を手渡す女性部員

曾田洋子副部長は「今後も女性部のPRと米の消費拡大を目指し、活動していきたい」と意気込みました。来店者は「女性部の活動を初めて知り、興味を持った。新米を帰って味わいたい」と笑顔で受け取りました。

女性部が厚生連見学 健康について理解深める

くにびき女性部（中島和子部長）は11月24日、出雲市斐川町のJA島根厚生連健康管理センターを見学し、健康教室を体験するなど健康について理解を深めました。

同施設は、組合員や地域住民の健康増進と情報発信の拠点として、今年3月下旬に完成。施設内には、診察室や検診室、健診・研修室などを設け、より充実した活動を展開しています。

当日は、同厚生連職員の内を見学し、研修室内で健康教室を体験しました。健康教室では、タオルを使って筋力向上や血流の促進、腰回りの凝りをほぐす健康体操を実施し、健康の増進を図りました。

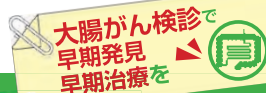
その後、場所をホテル玉泉に移し、昼食を楽しみました。中島和子部長は「健康について深く考える一日となった。家庭でも手軽にできる体操だったので続けていきたい」と話しました。



タオルを使って体操する女性部員



今年度大腸がん検診を
受けていらっしゃらない方にお知らせ



大腸がん検診を 受けましょう。

松江市
がん検診

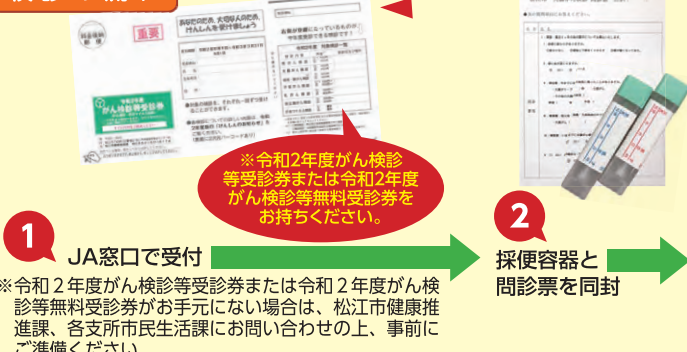
詳しくは下段記載の
検診の流れ
をご覧ください。

検体提出方法が変わりました

受付場所

- JAしまね各支店窓口（土・日・祝日を除く、8:45～15:00）
川津・古江・法吉・津田・乃木・鹿島・島根・八束・美保関・東出雲・八雲
宍道・玉湯

検診の流れ



今年度より変更になりました

今年度は検体容器のポストへの投函はできません。JA支店窓口へ提出いただきますようお願いいたします。



3 JA支店窓口へ提出用封筒を持参
(提出期間：1月18日(月)～29日(金) 8:45～12:00 ※土日を除く)

申込期間

令和3年 令和3年
1月12日(火)～1月25日(月)

※検体の提出期間は、1月18日(月)～1月29日(金) (8:45～12:00 ※土日を除く)

お問い合わせ先

【委託者】松江市健康推進課 TEL 0852-60-8174
【検診機関】JA島根厚生連 TEL 0853-31-4770

JALしまね JA島根厚生連
この検診はJA島根厚生連が松江市から委託を受けて行うものです

ご確認ください！

ポイント有効期限のお知らせ

平成30年に付与された「おさいふカードポイント」の有効期限は令和2年12月31日までです。対象となるポイントは、店頭端末や支店窓口などでご確認ください。



※JAグリーン・グリーンショップでは、お買い物の際、1ポイント1円でご使用できます。

パートナーセンター廃止のお知らせ

婚活支援事業「パートナーセンター」は、松江市と連携をとりながら組合員・地域住民の「結婚」のサポートを行ってきましたが、昨今のお見合い形態の変化による会員数の減少等により、令和3年2月28日(日)をもって、廃止することとなりました。なお、相談業務につきましては、令和2年12月25日(金)をもって終了させていただきます。廃止に伴い、ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

くにびき女性部がお届けする 松江に伝わるふるさと料理

松江に伝わる郷土料理を次代へ伝承していくため各地区のメニューを季節ごとに紹介します。



芋ようかん

八雲支部は49名の部員で、料理講習やフラワーアレンジメント、ミニ運動会などの活動を行い、親睦を深めています。今回紹介する「芋ようかん」は、サツマイモの美味しい季節にぜひ作りたいシンプルなおやつです。おせち料理の一品にもおすすめです。

【材料】(15cm四方の流し缶1台分)

- ・サツマイモ…………… 500g
- ・粉寒天…………… 小さじ2 (4g)
- ・水…………… 250ml
- ・砂糖…………… 125g

【作り方】

- ①サツマイモは2cm厚さの輪切りにし、皮を厚めにむいて水にさらし、アクを抜く。
- ②たっぷりの水(分量外)にサツマイモを入れ、沸騰したら茹でこぼし、もう一度水を入れ、やわらかく茹でて湯を切り、熱いうちに手早く潰す。
- ③鍋に分量の水と粉寒天を入れ煮溶かし、砂糖を加えてこし、鍋に戻す。
- ④③に②のサツマイモを加えてよく混ぜ合わせ、冷水に当てて熱を取る。水で濡らした流し缶に入れて固め、さらに冷蔵庫で冷やし固めて完成。

【ポイント】

- ・色よく仕上げるために、サツマイモの皮は厚くむき、水にさらしてアクをぬぎます。また、くちなしの実やゆずの皮を入れても鮮やかな色が出ます。
- ・裏ごしすると滑らかに仕上がります。
- ・ムラサキイモを使うと色味の違う芋ようかんができます。

今月の料理人

八雲支部
石倉久美子 さん (左)
岩田悦子 さん (中央)
林八重子 さん (右)



1 月くにびき地区本部 各種相談会カレンダー (税・ローン)

※各相談とも無料で
お受けしています。

日	曜日	相談会内容	場所・時間
7	木	税務相談会	古江支店 (TEL: 36-8157) 10:00~12:00
8	金	税務相談会	乃木支店 (TEL: 21-3758) 10:00~12:00

○くにびき統括支店ローン営業センターでは、土曜日(10:00~15:00)に休日住宅ローン相談を実施しています。要予約。

※1月の土曜営業日は16日、30日です。

◆お問い合わせは

☎ 0120-988-380

※税務相談会のご予約は、開催日2日前までをお願いします。予約先:開催会場となる支店

1月 ふれあい訪問日

1月20日(水)・21日(木)

日等について

令和3年1月							備 考
1	2	3	4	5	6	7	
金	土	日	月	火	水	木	
休	休	休					1月4日より営業します。
休	休	休					1月4日より営業します。
休	休	休					休日対応は転送電話にて行います。
							年中無休。フリーダイヤル0120-100-837
休	休	休	休	休			1月6日より営業します。
休	休	休	休				定期配送は左記のとおり休みます。1月5日より定期配送します。
休	休	休	休	休	休		12月31日は17:00まで営業します。1月7日より営業します。
休	休	休	休	休	休		
休	休	休	休	休	休		12月30日は17:00まで営業します。1月7日より営業します。
休	休	休	休	休	休	休	12月30日は17:00まで営業します。1月8日より営業します。
休	休	休	休	休	休	休	12月30日は15:00まで営業します。1月8日より営業します。
休	休	休	休	休	休	休	
休	休	休	休				1月5日より営業します。

12月30日	12月31日	1月1日 元日	1月2日 初売り	1月3日	1月4日～
9:00～19:30	9:00～19:00	休	10:00～17:00	10:00～17:00	9:00～19:00
10:00～19:00	10:00～18:00	休	休	休	10:00～18:00
9:00～20:00	9:00～19:00	休	10:00～17:00	10:00～17:00	通常営業
9:00～20:00	9:00～19:00	休	10:00～17:00	10:00～17:00	
9:00～20:00	9:00～19:00	休	10:00～17:00	10:00～17:00	
通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	通常営業	

3. ATM稼働について

12月31日～1月3日の間ご利用いただけるATM 松江市内ATM設置場所

設置場所	稼働時間	設置場所	稼働時間	設置場所	稼働時間
イオン松江店	9:00～20:00	宍道支店	9:00～20:00	津田支店	9:00～20:00
エコロかわつ	9:00～20:00	エコロたまゆ	12月31日 9:00～19:00	乃木支店	9:00～20:00
法吉支店	9:00～20:00		1月1日 休止	中原店	9:00～20:00
生馬店	9:00～20:00		1月2日 10:00～17:00	東出雲支店	9:00～20:00
エコロやくも	9:00～20:00	エコロふるえ	9:00～20:00	八束支店	9:00～17:00

JAカード(クレジット)の紛失・盗難の場合

連絡先 三菱UFJニコス盗難紛失専用ダイヤル：0120-15-9674 (年中無休・24時間対応)

*JAカード(クレジットカード)一体型カードの場合は、両方の連絡先にご連絡下さい。

1. 営業日について

年末年始の営業

くにびき地区本部各事業所等

	事業所名	電話番号	令和2年12月						
			26	27	28	29	30	31	
			土	日	月	火	水	木	
地区本部・支店等	地区本部・支店	55-3000	休	休				休	
営農経済部	資産相談センター	32-3111	休	休				休	
	生活燃料センター	36-9270	休	休				休	
	葬祭センター	36-4570							
	自動車センター	55-3077		休			休	休	
	物流センター	55-3036	休	休		休	休	休	
	JAグリーン	かわつ	21-2373						
		つだ	32-5050						
	グリーンショップ	ふるえ	36-7133						休
		やくも	54-1136						休
		たまゆ	62-1314						休
しんじ		66-0173						休	
	農機センター	55-3066		休	休	休	休	休	

Aコープ西日本

店舗名	通常営業時間	~12月28日	12月29日
Aコープかわつ	9:30~19:30	通常営業	9:00~19:30
Aコープ本庄	10:00~19:00		10:00~19:00
Aコープふるえ	9:30~20:00		9:00~20:00
Aコープやくも	9:30~20:00		9:00~20:00
Aコープたまゆ	9:00~20:00		9:00~20:00
ファミリーマートAコープしんじ	24時間		通常営業
ファミリーマートAコープこうぶ	6:00~22:00		

お知らせ ●「Aコープかわつ」は、令和3年1月より通常営業時間を9:00~19:00に変更いたします。
●「Aコープ本庄」は、1月5日まで10:00~18:00営業となり、6日から通常営業いたします。

2. 共済事故に係る年末・年始の連絡先について

自動車事故に係る連絡先

期間	連絡先	電話番号
令和2年12月31日 ~令和3年1月3日	「JA共済事故受付センター(大阪)」	フリーダイヤル 0120-258-931
	「JA共済サポートセンター」 (レッカーサービス・ロードサービス)	フリーダイヤル 0120-063-931

通帳・証書・キャッシュカード・印鑑の紛失・盗難の場合

連絡先	各支店窓口(平日9:00~17:00)
	全国集中監視センター: 0120-57-2045(平日17:00以降 土曜日・日曜日・祝日)

CrossWord クロスワード パズル Puzzle

二重マスの文字をA～Dの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

1	6		10		17	20
		D				
2			11	14		
					B	
3		8		15		
		9				21
	7			16	18	
4			12		19	
		A				
5			13			
						C

答え

A	B	C	D
---	---	---	---

・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送以外の目的で
利用することはありません。

タテのカギ

- ①羽根突きに使う道具
- ④すずりですります
- ⑥止まらず次に進むこと
- ⑦重さを知りたいときに使います
- ⑧テレビやエアコンに向けてボタンを押します
- ⑩ご飯のこと。焼き——
- ⑫いんちがいち、いんにがに……
- ⑭——付きのタイで成人を祝った
- ⑰車が動きださないようにタイヤにかませます
- ⑱同種の事例は枚挙に——がない
- ⑳凍った場合は氷瀑(ばく)と呼ばれます
- ㉑ひもの——が固くてほどけないよ

ヨコのカギ

- ①一富士ニタカ三ナスビは、何に見ると縁起の良いもの？
- ②キャンパスの大きさを表すときに使う言葉
- ③港を表す地図記号はこの形
- ④強烈な悪臭がする液をお尻から噴射して身を守る動物
- ⑤1/100はセンチ、1/1000は
- ⑦なぜか猫が入りたがる物
- ⑨大豆や緑豆の種子を暗い所で発芽させた物
- ⑩物事をするのにちょうど良い頃合い
- ⑬おせち料理に入れる煮豆
- ⑮鶴は千年、——は万年
- ⑯ご飯のこと。カレー——
- ⑰ぬいぐるみに詰めます
- ⑲ピーヒョロロと鳴く大きな鳥

応募要項

● 応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

● 賞品

正解者の中から抽選で40名(ＪＡしまね全体)の方に「ＪＡ商品券」をお贈りします。

● 当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

● 宛先・締切

〒690-0823 松江市西川津町1635-1
ＪＡしまね くにびき地区本部 総務課 「クイズ」係
2021年1月8日(金) (当日消印有効)

◆ 先月号の答え ◆

「シュンギク」

ホ	シ	コ	イ	ビ	ト	
2	コ	ー	ト	フ	ギ	リ
リ	ケ	タ	ナ	イ		
	ウ	イ	ン	タ		
キ	ス	カ	タ	レ		
4	ツ	ク	エ	ミ	シ	ン
5	ク	チ	ビ	ル	ユ	ズ

川柳の広場

最優秀賞

「もう」と「まだ」上手に使い生きる日々

出雲市 多久和敬子様

(評)暮らしの中で何度も思う「もうとまだ」です。消極的な「もう」と積極的な「まだ」ですが、上手に使うのも生きる知恵でしょう。

優秀賞

手ごころは距離を保って嫁姑

松江市 後藤 竹子様

トンネルを抜けたらきつといい走り

出雲市 加本 精一様

世渡りに表と裏の顔を見る

出雲市 野中 花蓮様

佳作

古希祝う息子のしぐさ亡夫に似る
GOTOに行けと止めるが綱を引く
鈴虫の秋の知らせになごむ胸
祭りなし静まり返る過疎の郷
晩秋の月も見守る秋祭り

出雲市 岩本 静代様
出雲市 山根 繁幸様
雲南市 秋風 和恵様
江津市 山形ゆうき様
浜田市 前田 隆行様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへも是非ご応募ください！

「家の光」1月号 定価922円。ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。(最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句)

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名(または雅号)を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
JAしまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
FAX: 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp



最優秀賞、優秀賞の4名様には「JA商品券1,000円分」をお贈りします。

健康 散歩

けんこうさんぽ



「お礼のお手紙」

12月号は、
いただいたお手紙を
ご紹介します。

|| 農業者・女性部健診で胃がん発見 ~「命拾い」感謝の手紙~

「安いし、受けてみるか」と気軽な気持ちでJAしまねの「農業者・女性部健診」を受けたところ、胃がんが見つかったという組合員の女性。健診結果と一緒に紹介状が届き、ご主人から「すぐに病院に行った方がいい」と促され受診し、手術を受けられました。その後、農作業ができるまで元気に。

いただいたお手紙には「家族や近隣の友人の助けに感謝しています」と闘病生活を振り返るとともに、自分は健康だと思いつづられていた方に、健康の大切さが伝わればとの想いがつづられていました。



|| 健康体操の動画配信 ~小学校からお礼の手紙~

当会保健師が考案し、ホームページで公開している「パプリカで健康体操」を毎朝実践する福岡県の須恵第三小学校から、お手紙をいただきました。

同校の先生が、児童の体力向上を目的とする取り組みを模索していたところ、この健康体操を知り、毎朝全校児童と職員が実践。この取り組みが地元メディアに取り上げられ、注目を浴びているそうです。

この度、児童のみなさんから「みんなで楽しく体操しています」と可愛いお礼の言葉が届き嬉しく思いました。「パプリカで健康体操」はこちらから→



児童からお礼のお手紙

自分の身体を守るのは自分だけです。できることから実践して、健康で楽しい毎日を過ごしませんか。健診やがん検診は毎年受けましょう。紹介状が出たら精密検査を受けましょう。運動やバランスのとれた食事ですべてを身体をつくりましょう。

JA島根厚生連



JAしまね 総合ポイントカード「おさいふカード」会員様へ

優待割引のお知らせ



JAしまね ×



メガネの三城

メガネ一式
10%OFF!!

補聴器
5%OFF!!

ご利用の際には、提携店舗にておさいふカードをご提示ください。

提携店舗

島根県内メガネの三城 全店

※他の割引が併用できない商品・サービスが一部ございます。詳しくは係員にお尋ねください。

お問合せ



JAしまね

本店経済部生活課 [TEL] 0853-25-8907

島根うまれの食材レシピ

しまねうれしび

島根県立出雲農林高等学校「家庭クラブ」篇

今回の「しまねうれしび」は、昨年11月に開催された「第4回食の輝結び甲子園全国大会」で、みごと優勝された島根県立出雲農林高等学校「家庭クラブ」2年生のメンバーにオリジナルレシピを考案していただきました。

家庭クラブは、年間を通じて様々な料理コンテストに応募したり、各種イベントに参加したりしています。中でも同校の農業祭では料理の実演販売を行い、毎年長蛇の列が。昨年はチーズハットグとタピオカドリンクが300食以上売れ、大変な賑わいだったそうです。また、近年では県内のホテルと共同でホテル内のレストランのメニューを考案し販売しており、料理を通じて地域の方々とつながり、活動の輪を広げています。

今回は、そんな家庭クラブの2年生9名が、島根県内の食材にこだわったオリジナルレシピを夏休み中に考案。その中から食品科学科の山田理水さん（上記集合写真 後列右端）のレシピが選ばれました。試行錯誤を重ね何度も試作し、完成させたそうです。

JALしまねは食を通じて、これからも家庭クラブの活躍を応援します。



家庭クラブ2年生のみなさん



「第4回食の輝結び甲子園全国大会」で優勝



県内のホテルと新メニューを提案



食品科学科2年生 山田理水さんからひとこと

授業の実習で作った「出農ジャム」を使ったクリスマスのメニューです。このジャムを地域の方々にご紹介できる機会ができて、とてもうれしいです。

クリスマスに食べたい

鳥肉のマーマレード焼き



・AとBの分量を間違えなければ、お好みの野菜でアレンジできます。

●材料（4人分）

- 鳥むね肉…………… 320g
- ミニトマト…………… 8個
- 玉ねぎ…………… 小2個（または中1個）
- パプリカ… 赤色・黄色各大1/2個
- ブロッコリー…………… 8かけ
- ローズマリー（乾燥したもの）… 4枚

●作り方

- ①鳥むね肉全体をフォークで刺し、一口大に切る。
- ②ポリ袋にBと①を入れて揉みこんでおく。
- ③パプリカは種を取り、星形8個を型抜きし、残りは1cm角に切っておく。
- ④ブロッコリーは下茹でしておく。
- ⑤アルミホイルを30cm長さに切り、中央に2mm厚さにスライスした玉ねぎ、キッチンペーパーで水分を拭き取った②、パプリカ、ミニトマトの順で盛り、混ぜ合わせたAをかける。
- ⑥⑤にローズマリーをのせたら、アルミホイルでしっかり包む。

- 薄口しょうゆ…………… 大さじ2
- A ★出農マーマレードジャム… 大さじ2（市販のものも可）
- マヨネーズ…………… 大さじ1
- B 塩…………… 小さじ1/2
- 砂糖…………… 小さじ1
- 塩（下茹用）…………… 1つまみ

- ⑦250℃に予熱したオーブンで10分焼く。（オーブンによって時間は調整してください）
- ⑧焼き上がった包みを皿に乗せ、アルミホイルを開き、茹でたブロッコリーを盛り付けて完成。

★出農マーマレードジャムとは、砂糖以外の食品添加物やゲル化剤、酸味料を加えずに、本校の食品科学科で作ったジャムです。

家族と楽しく

こたつで食べたいリンゴのアイス



・ジッパー付袋を振る⑥の作業は、家族で楽しみながら出来ると思います。

●材料（4人分）

- 生クリーム…………… 100cc（植物性も可）
- 牛乳…………… 50cc
- ★出農リンゴジャム…………… 大さじ2（市販のものも可）
- 砂糖…………… 20g
- 卵黄…………… 1個

●作り方

- ①ミックスナッツを刻み、予熱なしの160℃のオーブンで7分焼く。
- ②卵黄をほぐして、牛乳を加えて混ぜる。
- ③②に砂糖、出農リンゴジャムを加え、砂糖が溶けるまでゆっくり混ぜる。
- ④③に生クリームを加えて、泡立てないように混ぜる。
- ⑤ジッパー付小袋に④を入れ、空気を残したままジッパーを閉める。

- 飾り用 ミックスナッツ（素焼き）… 適量
- リンゴジャム…………… 適量
- ミント…………… お好みで
- リンゴ…………… 中1/2個
- A バルサミコ酢…………… 大さじ1/2
- 出農リンゴジャム…………… 大さじ1
- 氷…………… 500g
- B 塩…………… 165g
- 水…………… 100cc

- ⑥Bを入れたジッパー付大袋の中に⑤を袋ごと入れ、空気を入れてジッパーを閉める。タオルを巻いてアイスが固まるまで10分程度袋を振る。
- ⑦Aを鍋に入れて混ぜながら中火にかける。沸騰してから30秒程度、焦がさないように煮詰めてソースを作る。
- ⑧飾り用のリンゴを2mm厚さにスライスし、その上にアイスを盛り付ける。⑦のソース、リンゴジャム、ミックスナッツ、ミントを飾って出来上がり。

【編集後記】

「12月号しまねうれしび」掲載用レシピを、出雲農林高校家庭クラブ2年生のみなさんに依頼したのは夏休み前のこと。どのレシピも計算された4人分の材料、料理の写真、盛り付けやアレンジ方法が丁寧に書いてありました。猛暑の上、短かった夏休みに冬のレシピを考えるのは大変だったと思います。心よりお礼申し上げます。（木村）